

岩上安身・小沢一郎対談 2010年12月23日

岩上：（以下発言者名省略）今日はスペシャルゲストをお迎えしております。民主党前代表、小沢一郎先生です。よろしくお願いします。

小沢：（以下発言者名省略）よろしく。

今日は、私のところだけではなく、ニコニコ動画さんの方でも流してもらっています。きっと多くの視聴者が付いているのではないかと思います。

あ、そうですか、はいはい。

では最初に、今日はネットメディアにお出で頂いた訳ですが、そこにはどのようなご決断があったのでしょうか。

最近、出来るだけ要請があったら出たいと考えているのですが、それは本当の真実をスピーディに、かつ大勢の人に伝達してもらえというのが理由ですね。7、8年前だと、僕の場合、選挙などでですね、インターネットでの調査結果が選挙の結果と一致しなかったんですね。それが最近、急に変わって来まして、使う人が増えただけでなくそうした人達が行動をするようになってきた。だから僕は既存のメディアよりも、特に多くの人に訴える時には、遥かにネットの方がいいと、そう思っております。

あ、ありがとうございます。ツイッターもご存じですよ、ああいう場で呼びかけてデモが集まったりするんですよ。

あ、そうみたいですね。僕の所にも、7、8人の人から、それぞれ互いに知らない人達らしいんですが、こういう事をしたんですが、という問合せが来たりしました。ようやく日本でも、国民が、主権者が直接行動を起こすというのが、インターネットが普及する事によって、言わば助長されて来たんじゃないでしょうか、ね。

加工されない情報、未編集、これはそのまま放送されてますから、信頼感というものもあるのではないかと思います。

はい、そうですね。

ということで、まずはですね、年を明けたらすぐにも裁判になるかもしれないお立場な訳ですが、検察審査会での二度の強制起訴、このお話を伺わない訳にはいかないだろうと思っております。先日、弁護士の弘中先生にお話を伺いまして、国民の知る権利は大事だが、被告人の人権を守る事に留意して欲しいとの事で、勿論、お話出来る事と出来ない事もおありでしょうから、お話出来る所でお話して頂いて、まず弘中先生を選ばれた理由というのはどこにあるのでしょうか。

これはですね、僕の仲間の議員の中で、弘中先生とともに懇意にしてる方がいて、弘中先生の弁護士感覚を高く買っておられまして、その方の推薦がありまして、僕は良く分からなかったんですけども、そういう事であるならば、ということで、はい。

弘中先生が弁護団に加わられて、何か小沢さんの方に説明のようなものはありましたでしょうか。

僕は、基本的に、あの一、弁護士の先生たちとは話しておりません。ただ、自分自身の、事について、弁護側として、必要な事があれば、僕は何でもお答えします、と。そういう感じで特別、いちいち打合せして、ということはしておりません。

じゃ、その辺についてはお任せしてるという事ですか。

そうですね、ある意味においては単純な事ですので、僕はなんにも不正な事、しておりません。検察が国家権力で強制捜査を1年余に渡ってやった結果が、不正はなかった、不起訴という事になった訳ですから、僕としては最初っから何も隠し立てする事はないし、不正もしておりませんから、あとは弁護士の先生にお任せすると。はい。

この問題について、説明責任が足りないという連呼がずーっと続いていた訳ですね。鳩山政権の時には毎週記者会見をしておられましたし、私もそこに行かせて頂いておりました。その中、非常に異様な物を感じたんですね。小沢さんに対して同じ質問が延々と繰返される。それが毎週毎週ある。ところが、その一部分だけ切り取られて報じられる。中には挑発的な質問もあって、ちょっとムカッとするとそのお顔だけオンエアされるという。それを私はまざまざと見てきた訳で、で、これは何故こんな事が起こるのかと、そもそも説明はずっとされてるんじゃないの、それこそ会見を全部見

せればいいんじゃないの、とずーっと思って来てたんですよ。実際、ああいう場面、どういう思いで会見を続けてこられたんですか？

あのー、一人の政治家個人として、1億2千万の人に説明して歩くというのは、物理的に不可能ですよ。ですから、メディアを通じて出来るだけ分かって頂けるようにと、だから僕は記者会見にも、20年くらい前から、どなたもお出で下さい。既存の記者クラブですか、あれは14-5社でかな、作ってますよね、各省庁、官邸から何から、だけど私は全部どなたでもいいですよ、という方針でやりましたし、

自民党幹事長時代からですね。

そうそう。ですから、それが一つは既存の大手メディアから、んー、あの野郎けしからんと、言われる一つの最初っからの理由だったと思いますが、やっぱり一番は本当に改革する事になると、旧体制で既得権持ってる人は反発するに決まってるんですね。その中で一番既得権持ってたのが新聞などのメディアじゃなかったでしょうか。

情報を一手に独占してる、と。

そうそう、独占。情報だけじゃなくって色々な意味での独占的既得権を持っていますから。小沢一郎はもしかすると本当に既得権にメスを入れようとしてるんだと思ってるのかもしれないね。彼らから見ると危険人物かな。はっはっは。

民主党が政策として掲げていたものに、クロスメディア、クロスオーナーシップの禁止というのがありました。これが今やどこ行ったのかという状態ですが、これについてはどうお考えでしょうか。

集中排除のアレね。

そうです、そうです。

あれは、事実上、ただのお題目になっちゃってますね。これは徹底しないとイケないですね。それと同時に、テレビ、電波の免許も、新聞の再販も、これは独占権なんですよ。これも競争の原理を、あの小泉流の野放しのじゃなくってですが、あまりにも既得権で守られてますから、そこを少しオープンにして競争原理を入れなくちゃいけないじゃないかと、と僕は思ってます。だから余計に睨まれる。ふっふっふ。

新規参入が全くないですもんね。まるっきりこれはカルテルじゃないかと。

そう、そう。

ちょっと話変わりました、政倫審です。岡田幹事長に文書で出席しないと回答された訳ですが、この政倫審とは何か、何故そう回答されたのか、このあたりのお考えを伺えますか。

はい、政治倫理審査会ってのは、僕が衆議院の議員運営委員長の際に、ロッキード事件に関連してですな、まあ作ったんですね。政治的な主旨としては、捜査を受けたり司法の場にいるというような事に該当していなくても、色々疑惑を持たれた時に政治家が国会の場で説明するというものなんです。政治家としての行為規範に著しく違反した場合、と規則には書いてますが、私の場合は去年の3月からずーっと強制捜査を受けてまして、私自身は捜査当局からは二度に渡って不起訴になりましたけれども、検察審査会でその事実関係をもう一度、公判廷で明らかにしなさいという事になった訳ですから、三権分立という近代国家の仕組みから見ても、司法の場でやろうとしている事を立法の場でも行うのはルールにもとることではないかな、と思っているのが基本的な考え方です。

はい。

ただ、僕は政治家ですから、その論理を棚に上げたとしてですね、もし、僕が政倫審に出て国会の論議がスムーズに行くとか、或いは国民が納得して選挙で支持してくれるとか、そういう事であるならば僕は喜んで、まあ建前は別として、出ますよ、という事はずっと言い続けているんです。

これは岡田さんと居る時にも？

勿論言ってます。昔さんとでもです。あとは、会見でも皆さんに言ってます。だから僕が政倫審に出ない事で野党が審理拒否するとか、選挙がベタ負けするとか、そういう事になりゃ、僕は政治家としての責任を感じなくてはいけないから出るんだけど、現実には私自身の問題よりも、大きな問題で野党が言ってるんじゃないか、国民も小沢一郎などよりも

経済や社会問題の方が大事なんじゃないか、というような事でそういう問題についてもっとしっかりせえ、と僕は言ってる訳です。

岡田さんとの話し合いの中で、岡田さんは何とおっしゃいました？

一対一の話ですか？

そうです。

個別具体的に話すのは良くないと思いますが、基本的に今言った主旨の事を僕は言いました。ただ、彼自身は国会運営でもあらかじめ野党と話し合うべきではない、と他の場で言ってるようです。それじゃどうやって国会運営するのか、という事になっちゃう訳ですが、そうなると野党がどう出て来るかという問題じゃなくて、お前自身どうするかという問題じゃないかと思いますね。

国対(国会対策委員会)というものを認めないという事になりますと、今までのように小沢さんの問題を取引材料にして、何か法案を通してくれという根回しみたいな事をしてる訳ではない、という事なのでしょうかね。

明確にそういう問答はなかったですけども、そういう事はよろしくないという考えを表明しているようですから、そういう話は無かったということです。となると僕としては原則の論理に戻るしかない訳で、皆の為に出る理由は無いのだから、政倫審に出る必要もないんじゃないかな、と。はい。

17日の岡田さんと続いて、20日に菅総理とお話になられて、菅総理が感情的になったという話が伝わっていますが。

同じ話のやりとりでしたね。とにかく(政倫審に)出てくれ、と。まあおおまかに言うと同じです。司法の場で手続きに入っちゃってると。だから立法府で同時並行するってのは三権分立から言うと筋違いじゃないかと。

なるほど。で、西松事件とか検察審査会とか、それらがどういう物で今、どうなっているのかという事を国民は余り知らないと思うんですね。例えば、去年の3月、西松事件が起きて、秘書の大久保さんが逮捕されて、今年の5月21日でしたか、突然、訴因が変更されたんですね。つまり西松事件そのものが成立しなくなり中身が変わって行った。そういう事をメディアは殆ど報じていない。検察審査会に至っては二度目の議決の内容が全く公開されないなど非常に疑問が多い。それで民主党議員の方々が情報公開を求めたんですが、出て来たのは黒塗りの資料だった。何度も請求し直して少しずつ白くなってきたんですが、これは一度目の議決に関するもので二度目の議決については全く不透明です。議決内容に項目が増えているとか、出席した市民代表の平均年齢が三度も変わっているなど、こういう問題について何かお考えを伺えれば。

まあ当事者ですから、今の制度そのものについてはどうだこうだと言う立場ではないと思います。党の法務部会でも、二回目の議決について資料提出を求める議決をしたようです。ただ私としてもスタッフの面々も、収支報告書の計算の間違ひはあったと思うけど、裏献金もらったとか、寄付を隠そうとしたとか、そういう事は一切していないと思ってます。それは司法の場できちっと明らかにしていきたい。それで検察制度に限らず、一般行政でも政治資金にしても日本はとにかくクローズドな社会な訳ですね。政治資金について見ても、何か問題が起こると規制しようばかりする。それは結局官僚の権限を増すだけで、問題の解決には繋がらない。だから僕は全てをオープンにする。政治資金なら1円から明らかにすると。それを全部主権者が見れば、あとは選挙で票を入れるかどうかになる。まあアメリカほどとまでは言いませんが、ヨーロッパ程度には開かれた社会にすべきだ、しないといけないんじゃないかと。

メディアは小沢さんに説明責任を求め、小沢さんは情報を開示して来ましたが、それに対してメディア自身や党や検察審査会もオープンにしてもらわないと困りますよね。最近、最高検がやっと記者会見をオープンにし始めたんですが、それでも写真・録音などは禁止です。我々国民からすれば、どれも同じ権力ですから、公明正大にオープンにしてもらいたいと思ってるんですけどね。

一番の権力は、新聞、テレビなどの大メディアですよ。それが情報を正確に伝えさえすれば、かなりの部分、日本の社会はオープンになると思います。例えば、僕の事について書いてる事ってのは、殆ど事実と相違します。最近の記者はね、昔は本人なり何なりに裏を取りに行ったものなのに、今はパッと同じように話を鵜呑みにして都合の良いように報道しちゃいますから、僕はそういう会社なりメディアなりが正確に情報を伝えるだけでかなりオープンになると思いますよ。

オープン化といえば、可視化です。民主党のマニフェストにも可視化というのが入ってた筈です。ところが、これに非常に強い抵抗があったからか、これがちっとも進んでいない。

それも社会をオープンにしようという事の一つでしょうね。特に検察だけじゃなくて、行政の濫用はなるべく少なくするというのが民主主義の基本ですが、しかし今言ったように大メディアがもう少し勇気を持って真実を語れば、日本はもっともっと透明になると思いますよ。まあ、彼ら自身が既得権益を持っていますから、それをやりきれないんでしょうね。

既存メディアに可能性があるんだったら、私も50過ぎてインターネットなんて始めなかったんですけど(笑)。今までの仕組みでは難しいからこそ、新しい仕組みを求めた訳ですが、話は少し変わって、あのロッキード事件の頃、私はまだ子供だったのですが、検察って凄いな、正義の味方なんだな、と思ったものです。ところが、長ずるに連れ疑問がどんどん出て来ました。もし小沢さんご自身が振り返って、ロッキード事件を見直すとして何かあるでしょうか。

うーん、まあ悪い事をすれば、権力者であれ、ルールで罰せられるのは当然ですね。ただ、政治というのは日本国民の暮らしを守るという大きな責任がありますから、ロッキード事件をお金の問題に矮小化して誰かを罰してその場を通り過ぎようというのは非常に良くない。メディアが一体、事件の本質は何かを追求しないで、こいつが悪いを繰り返し、こいつさえいなければいいんだ、で終わらすと結局それが旧体制、つまり既得権を守る事に繋がってしまう。これが、例えば少しは既得権を失うけど、こう変えれば将来はこれだけ明るくなるというような発想が出来れば、僕は何も怖がる必要はないと思うんですけど、どうしても誰かをスケープゴートにして知らん顔になる。その繰り返しが本当に日本の、政治の世界の悲劇だと思いますね。もっと本当の所に迫って行くというのを、真実を伝え、事実を伝え、国民が判断するという方向にね、ネットはやって欲しいな、と。

ロッキード事件の取調べで既に暴力的な取調べがあったのだと、先日、一部の新聞が報じたりしたんですが、やっと振り返る気になったのかと思ったんですが。

そういえばあの時はね、最高裁がね、裁判官会議でコーチャン氏を免責にしたというのがあったんですよ。これは日本の法律に無い事やっちゃった訳で、日本の司法に非常に大きな汚点を残したんだと僕は思ってます。あれがいいとなると、全部免責にして勝手にしゃべらせろ、というのが通用してしまう。それを裁判官がやっていい、なんていう制度はない。

背景にアメリカの圧力があったと言う事は？

それは知る由もないですが、日中国交回復とかロシア油田とか、まあネタはありましたけども、僕はまあアメリカが直接そんな事をやるとは思いませんが、色々と利害関係のある人はいる訳ですから、何とも言えませぬね。

それでは日本の外交姿勢、日中、日米などについておたずねしますが、鳩山内閣にとって沖縄普天間問題が大きな重荷になった。マスコミによる鳩山政権バッシングが激しくなったのは、アメリカのゲイツ国防長官が来日してからでした。岡田外務大臣の会見に出ていても、記者達の質問が非常に厳しい内容になってたのも感じてます。この背景にアメリカの圧力がどの程度あったかと思われませんか。

これについては鳩山政権を潰すというよりも、アメリカは普天間の代わりに新しい基地が欲しいという事なんでしょうね。鳩山さんは沖縄にこれ以上、基地を作らせたく無かったが、外務省ほか各省、防衛省などが殆どアメリカの言うがままですから。

それなんです、日本の省庁がアメリカの言うがままって、これはどういう事なんですか。

それはまあ、長年のね、占領下以来、アメリカは日本を助けて来てくれましたよ。ロシアに占領されてたら、どうなったかですよ。それはまあ感謝しなきゃいけないんですが、それと同時にアメリカに依存しきって、何でもアメリカに頼って必要なら金払えばいいんだ、という風潮が生まれたんですね。これが日本が国際間で信用されない大きな理由だと思う訳です。良く日米同盟が大事だ、なんて言う人いますけどね、僕は今あるのは同盟なんかじゃないよ、と。同盟ってのは対等な国と国の関係であって、アメリカの顔色をうかがうだけの日米同盟なんてのは存在しない。でもアメリカの方もそれでいいと思ってる節もあるんだけど、今、アフガンで苦戦してる彼らにしてみたら、いざという時に頼りない同盟国じゃ困るというのが本音じゃないかと僕は思ってるんですよ。ただ日本が情けなくなっている。

93年に非自民政権が生まれた時、樋口レポートというのが作られ、多角的な安全保障を見直すきっかけが出来たものの、それは立ち切れになってます。今度の鳩山政権でも対等な対米関係を唱えたのに、尻つぼみになってます。こうした動きはアメリカの圧力なのか、国内の既得権益の思惑なのか。

僕は後者が強いと思いますね。アメリカの勝手もありますが、何も言えない日本もあるんです。現実にはアメリカは殆どの兵力をグアムに引揚げ、沖縄には殆ど実戦部隊はいない訳ですよ。だからアメリカは自分らが引揚げたあと、日本は

自分自身を守るのにどういふ防衛計画があるのかを知りたい訳なのに、それが言えないんですよ、日本は。何も考えてないから。だからアメリカの言う通りになるって方向になっちゃう。自己主張するには、自分で一定の責任を負わなくては行けないのにそれが無い。それが現状を生んでいる。日中も同じだし、日韓も多分同じでしょう。だからこれから国際関係が流動化する時に、これでは翻弄されて沈没になりかねない。僕は米国との対等な関係を望んでいるけど、それは軍事力で対等という意味ではない。国力などの条件に応じてそれぞれの役割を果たす、そういう意味での対等なんです。

湾岸戦争の時、自民党幹事長として小沢さんは国際貢献に邁進しました。でも結果には忸怩たるものがあった。そして今度のイラク侵攻に対しては大義が無いと言う事で国際貢献には反対された。

そりゃあ(イラク侵攻に)大義は無いですよ。あの時(湾岸戦争)、いくらイラクがクウェートは元々は自分の領土だと言っても通らない話だったし、当然侵略は問題外だからこそ国連も承認した訳で、日本も許される限りで貢献すべきだと僕は言ったんだけど、輸送機で難民を運ぶとか、輸送船で医薬品を運ぶなどの兵站、後方の野戦病院運営などの要求を受けて僕はそれを実行しようとしたんだけど、色々な抵抗で結局断念したんですよ。その後、アメリカから散々屈辱的な話をされましたよ。

どんな話ですか。

当時、ペルシャ湾には日本のタンカーが石油を運んでましたが、彼らはそれをちゃんと教えていて、自分の物を運ぶのはせつせつとやるのに国際貢献はやれないというのか、と大使から言われましたよ。それに戦争が終わってから日本は掃海艇を送りましたが、彼らは現地でアメリカ軍に「100ドルやるからお前、代わりに戦ってくれよ」と言われたと部隊長が言っていましたよ。日本は戦争に参加出来なかったが、その代わりに日本国民は一人100ドルを出したという話をそう返されたんですね。非常に屈辱的な話です。別に僕は実戦部隊を派遣しろなどとは言ってないんですよ。可能な限りやるべきだと言ってるんです。その当時、内閣法制局は後方支援も戦争と不可分な行為だから憲法違反だと譲らなかった。ところが、小泉政権の時になると後方支援は合憲だと言ったんです。この位、いい加減な連中なんだから僕は廃止しろと言ってるんです。こんな事は政治家が判断する話であって、国会こそが立法府なのでそういう判断は国会がすべき話なんですよ。

これがもしかすると官僚を怒らせている理由の一つ？

わははは、委員会に出ちゃ駄目だとかね。ま、ブッシュ Jr.よりは父親の方が立派だったと思いますね。ジュニアはアメリカ人の悪い面が大きく出てしまった。僕はアメリカ大使に言ったんですよ、あんたんとこのブッシュ Jr.は何て言ったか、これはアメリカの戦争だと言ったでしょう。国際社会の合意なんて不要だと言って、イラク戦争始めたじゃないですか。フセイン政権が良いとは言わないけど倒しちゃった。アフガンだって同じでしょ。で、困ったら助けてくれと言う。僕は大使に言った。アメリカ人らしくないぞ。自分で始めたんだから自分の尻くらい自分の手で拭けと。

米国債を買えなどと言うな、と。

わはははは。それはともかくもつと変なのはね、イラクはフセインが大量破壊兵器なんか持ってないというのに侵攻した。北朝鮮はどうですか。核兵器持っているとってるし、立証もされているじゃないですか。持ってないという奴を攻撃して、持っていると放っておいて話し合いとはどういう事だ、と。それも言ったんですよ。だからアメリカ人は尊敬されないんだよ、とも言った。

え、それで怒られないんですか。

怒らないよ、本当の事だもん。中国にも僕はちゃんと言ってますよ。その代わりに、僕は日米でも日中でも友好の為に一政治家として一生懸命やってますから、ちゃんと知ってる人は僕を怒らない。

えーと延長はあと5分までという合図が出ました。延長してよろしいですか。

はいはい、どうぞ。

ところで北朝鮮にどれだけ問題があっても中国がいる限り・・・

うん、アメリカは実際には何も出来ない。まあ幾ら何でも中国だって、今の北朝鮮の政権を良いとは思ってないでしょうね。でもその政権を倒したら朝鮮半島が統一されて一つの政権になってしまっ・・・

満州と朝鮮との国境に米軍が駐屯する可能性が出て来てしまう？

というよりそれ以上に朝鮮民族って元々、中国側に大勢いますから、彼らの交流が盛んになってしまう。その意味で政治的には北朝鮮は残っていて欲しい。でもね、あんなメチャクチャな政権、もう少し何とかしなくちゃ駄目だよ、と僕は言ってる。

今の状況、少し半島問題が緊張してますが、何か中国側とお話をされたとかは。

いや、僕は今は何も立場がないから、そういう事はやってませんが、中国というのは広大で多民族国家でもありますから、強大な権力でないとまとめられないのは事実です。それに関しては、ちょっと前ですけど中国の人と、権力も少しづつ民主化していかないと国は持たないよ、という事は言ったりはしてます。変わらずに残る為には変わらなくては行けない、というヴィスコンティ作品の言葉を贈ったりもしました。

誤解してる人も多いみたいですが、小沢さんを親中派だと思っていて中国利権を代弁するんじゃないかなどと言う人もいますね。代表選の時、菅さんと演説会で尖閣、奄美などの領土問題を取上げておられましたが、これは中国に対する牽制かという風にも思ったんですが。

あ、それはもう、前から言ってますから。中国首脳にも尖閣列島は中国政府の支配下に入った事は一度もない。これだけは譲らんよ、と言ったら、相手方もまあまあと言っていました、トウショウヘイから20年も経ったんだから、そろそろ解決しなきゃいけないとも僕は言いました。

日本領土だと認めると。

勿論そうです。

先日の漁船船長の逮捕やいきなりの釈放、小沢さんならどのように対応したと思われませんか。

事実関係について伝えられているのが事実だとしてお答えしますが、これは明らかに領海侵犯と公務執行妨害ですから、法に照らしてきちっと処分しなきゃ駄目ですよ。ところが、那覇地検の検事が釈放理由を日中関係に鑑みて、なんて言ったでしょ。こんな馬鹿げた話はあるはずはないんですよ。これは政府、つまり内閣が決める事なんです。指揮権発動だと言われようがどうしても、政府の責任で言わなきゃいけない。それを一官吏に責任を押しつけたというのは極めてよろしくない。

内閣が示唆したんじゃないかと言われてますが。

いやあ、示唆なんかじゃあんな事はしませんね。事実上、命じたんでしょう。

内閣が命じておきながら、責任は取らなかったという訳ですか？

そんなことない、と言ってる訳でしょ。それは非常によろしくない、禍根を残すと思いますね。

やはり内閣がきちっと判断し、命令し、責任を取るというのが小沢さんの考えですよ。

まして国際問題なんだから。一官吏が出来る事じゃないですよ。

ではいよいよもう時間がないので、まとめとして。政治主導について枝野さんが、政治指導なんて迂闊な事を言ってしまったと洩らしたり、企業団体からの政治献金を突然認めたり、消費税も上げると言ってしまったたり、可視化がどこか行ったり、何だか今の政権はマニフェストをことごとくひっくり返しているようです。

だから僕は約束しても100%の実現は出来ないにしても、可能な限り努力する事こそが大事な事だと思うんです。ところが金が足りないとか何とか言う訳でしょ。そんなのは最初から分かってた事です。旧来の仕組みをそのままにしてたら、足りないに決まっている。だからその仕組みを根本から変えて、無駄を省いて、優先順位を付けて、我々の主張を実現しようと言ってきた訳ですから、それを現実の壁があったからとあっさり翻すようでは何の為の政権交代だか分からないので、このままだったら国民から見放されちゃいます。まあ、今でもね、もう既に…

ははははは

ま、それは民主党の議員それぞれが、政権に安住したつもりになってちゃ駄目で、一人一人がしっかり認識しな

なきや駄目だと思いますね。

分かりました。まだまだ話は足りない所ですが、時間も無くなりました。今日は本当に有り難うございました。また機会がありましたら是非、お話を伺わせて下さい。あ、それとこれはツイッターに書かれた物のプリントアウトです。あとでお渡ししますのでご覧ください。

はいはい、こちらからもお願いします。ありがとう。